

11月例会 報告

☆☆☆☆☆ 夢に向かってキックオフ! ☆☆☆☆☆

北澤豪氏に学ぶ、 サッカーと地域の未来。



11月4日(日)、次代を担う青少年の育成と市民の方々とともにまちに夢を描くことを目的に、元サッカー日本代表、現サッカー協会親善大使の北澤豪氏を招いて「北澤氏に学ぶ夢の実現力！」をテーマにした「少年サッカースクール」と「トークショー」を開催いたしました。

アスレティックな花で行われた「少年サッカースクール」には地域の子どもたちが参加。北澤氏から直接指導を受けただけでなく、同氏率いるコーチ陣のチームとミニゲームをするなど世界一流のプレーに触れることができ、子どもたちにとって有意義な体験となりました。

引き続き鶴岡第一ホテルに会場を移して行われた「トークショー」では、一般市民の方々にも多数来場していただきました。選手として活躍した経験や JICA オフィシャルサポーターとして取り組むボランティア活動など、北澤氏にさまざまな角度からお話いただき、私たちも地域活性化について多角的な視点から考えることができました。トークショー終了後も希望者全員にサインをするなど氏の誠実な態度とあいまって、両事業とも大盛況のうちに終了することができました。

また今回の事業ではメンバーの意識啓蒙はもとより市民の方々とも交流を深めることができ、JCの意義や日ごろの活動を知っ

ていただく良い機会になったと確信しています。

とくに本事業を通じて、地域の後継者となる子どもたちの育成の大切さを実感いたしました。そのためにも私たち一人ひと



りが子どもたちを導くことができるよう成長していかねばならないとの観点から、今後ともこのような事業を継続させ、メンバー全員の成長をはかるとともに青少年との交流・育成を JC の

重要なテーマに位置づけていくことをご提案申し上げ、事業報告とさせていただきます。 研修委員長 草島孝志



回マンある未来の扉を切り開け!

～マイクロバブル講演会～ 広報委員会 佐藤 聡

10月18日(木)、鶴岡青年会議所と鶴岡法人会青年部共催の「マイクロバブル講演会」が出羽庄内国際村で開かれました。講師は、マイクロバブル技術の第一人者で、工学博士でいらっしゃる国立徳山工業高等専門学校教授の大成博文(おおなりひろふみ)先生です。

マイクロバブルとは文字通り微少な気泡で、髪の毛の太さの10分の1の大きさですから、目にはほとんど見えません。マイクロバブル同士結合しない、水中に長く滞留し続けるなど特殊な性質をもっています。

マイクロバブルの実用化に最初に取り組んだのが、マガキやあこや貝の養殖でした。養殖現場にマイクロバブル発生装置を設置したところ、成長が著しく促進され、更に夏でも大腸菌や一般細菌が検出されないなど想像以上の成果を生みました。

その他、工業製品の洗浄や排水の浄化、鰻(ハモ)やイカの養殖、キャベツの水耕栽培、そばやお菓子の製造過程への利用など、様々な応用が行われています。更に将来的には、人間の抗加齢や健康への貢献が期待できるなど、今後の応用研究によって多方面にわたる成果が期待できる技術であると感じました。

会場には鶴岡高専の学生が十数名をはじめ、100名を超える聴衆が集まり、新技術の説明に熱心にメモを取っていました。



★ 2008年度
理事予定者セミナーに出席して
広報委員会 副委員長 佐藤 裕宣

もうこの時期に入ると次年度体制に動き出し、去る9月28日、2008年度理事予定者セミナーが開催されました。

2008年度の理事は恩田健次理事長率いる総勢37名でスタートします。当日は2部構成でセミナーが行われ、1部では代35代理事長佐藤 公力先輩よりおいでいただき「理事の心得」と題して講演いただきました。

次年度は初めて理事を経験される方も多く、公力先輩よりこれまでの経験談から京都会議やサマコン等各種大会には是非参加して頂きたくさんの事を学び、全国にたくさんの友達を作ってもらいたい! また、理事の役割や心構え、「適材適所、少人数制」の意味などをお話いただきました。正しくJC活動の中から適材適所、少人数制の意味を学び個々の会社、事業で応用して頂きたいとお話でした。

2部では恩田健次理事長より次年度に向けての思いや考え方の説明、工藤規行専務理事より次年度理事会の進め方などの説明がありました。各理事予定者からは質問等もあり充実したセミナーでありました。



マイクロバブル講演会 アンケート結果

- ① 鶴岡青年会議所(JC)を知っているかどうか。
知っている 74.5%
- ② 今回の講演会は、ためになったかどうか。
ためになった 96.1%
(理由:自分の仕事でも使えそう。・可能性が多く今後
に期待出来る。・命や人の心にも関係するかもしれない
点は驚いた。など)
- ③ マイクロバブル技術を知っているかどうか。
知っている 51.0%
- ④ この技術についてのご意見、ご感想。
(・もっと知りたい。・広い分野で使えそうで、今後に
期待。・医療分野の期待も大きいので、今後に期待。・
食品衛生分野で詳しく知りたい。・こんなにすごい技術
があるとは思わなかった。・鶴岡市でもこの技術を使用
してほしい。・素晴らしい、今日来てよかった。・植物
の成長に効果があるのは興味深かった。など)
- ⑤ 今回のような講演会を私たちが企画することの
必要の有無
必要と思う 84.3%
- ⑥ 今後、JCや法人会にやってもらいたい事など。
(講演会事業・町おこし・社会貢献事業・活性化に繋がる
イベント・この技術の次のステップ・技術習得支援、
技術講習・産業創出事業・地域産業の特性を活かす事
業。・赤川花火大会。)

第8回 会員会議所会議 アニュアルレポートミーティングのご報告

山形ブロック協議会 地域政策委員長 佐藤 正 廣

さる10月13日(土)に職業訓練センターを会場に鶴岡の地で第8回会員会議所会議、並びに2007年度アニュアルレポートミーティングが開催されました。山口直人会長以下殆どのブロック協議会役員が前日12日から奥湯の浜温泉「龍の湯」にて準備を進めてのアニュアルレポートミーティングは今年度のブロック事業の総決算とも言える年次報告会です。すでに事業報告が完了している余裕の委員会もあれば、前日は準備でほぼ徹夜の委員会もあり、その余念のない準備に各会員会議所理事長の前で行われるアニュアルレポートミーティングの重みを感じます。私が今年度委員長として出向している地域政策委員会では、すでに完了している山形県知事マニフェスト検証大会と参議院選挙政策提言型公開討論会の2事業についてのみ報告させて頂きました。

報告書として記載しきれない委員会としての“思い”を会員会議所メンバーに述べさせて頂くことが出来る最後の機会にご多用中にもかかわらず参加頂いた鶴岡青年会議所メンバーに末筆ながら深く感謝いたします。



山形ブロック協議会 アカデミー委員会閉校式のご報告

アカデミー委員 小林 範 正

さる10月13日職業訓練センターにおきまして、山形ブロック協議会アカデミー委員会の閉校式が開催されました。閉校式同様ブロック参加17LOMの理事長様をはじめ、多くのメンバーに見守られながらの閉校式となりました。

この閉校式では、今年度行われたすべての委員会事業がパワーポイントを使って報告されました。また、それぞれの事業に対しての個人的な感想も交えてあり、JAYCEEとしての進化が見える報告であったのではないかと感じております。

このアカデミー委員会で学んだJAYCEEとしての「気づき・考え・実行する」という精神をLOMに持ち帰り、「明るい豊かな社会作り」の一躍を担うJAYCEE活動に邁進していかなくてはと感じました。



事務局 会務セクレタリー 松田 博美

アカデミー委員会に参加して

青少年委員会 菅原 青



思えば1月に長井で行われたアカデミー委員会の開校式からあっという間に時が過ぎ、先日10月13日に鶴岡の地で閉校式を迎える事になりました。

全6回行われた中、4回参加させて頂きましたが、今となってはすべてに参加できなかった事を非常に残念に思っています。

AEDの講習を受けたり、委員会の内容も素晴らしいものでしたが、アカデミー塾の一番いいところはやはり他のLOMから来た仲間達と知り合える事です。欲を言えばお酒を飲みながら全員と真面目な話から馬鹿話までいろいろな事をもっと話したかったです。

これからはそれぞれがそれぞれのLOMで経験を積み、お互い成長した姿で会える日が楽しみです。

最後に三浦委員長、高橋塾長、スタッフの方々、本当にありがとうございました。

JCに入って約1年。アカデミー委員会に出向となり、第1回目の集まりであった開校式。長井の地に集まった県内他LOMメンバーの多士済々に、また、その後に行われたブロック協議会の新年会の盛況振りに、むちゃくちゃ圧倒されたのが一番の印象です。

山口ブロック会長の言われた「他から何をしてもらえるかではなく、他のメンバーに何を与えられるか」にどれだけ応えられたかは極めて“??”ではありますが、71名の委員会メンバーの一人として、1年間有意義な体験をさせていただきました。

最後に、早く出向に送り出させていただきました、理事長はじめLOMの皆様方の温かいご理解とご配慮に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

11月の予定

- 11月1日(木) 第11回常任理事会
- 11月4日(日) 11月例会 北澤氏に学ぶ夢の実現力!
- 11月8日(木) 第11回理事会
- 11月13日(火) 第3回08理事予定者会議
- 11月29日(木) 第12回常任理事会

クリスマス家族会

12月7日

のご案内

来る12月7日(金)18時30分よりマリカ市民ホールにて12月特別事業“クリスマス家族会”を開催いたします。日頃のJC活動を支えてくれている家族の方々への感謝の気持ちを様々な企画で描き出したいと考えております。喜びあふれた夢のようなクリスマス家族会をご家族の方と一緒に楽しみましょう!何かと忙しい師走の開催とはなりますが、是非お誘い併せの上、皆々さまに出席いただきます様よろしくお願いたします。



釣道

～鶴岡の釣り文化～

【拾巻ノ章：釣ったか、釣れていたのか...そんなの関係ネ!?!】

JCF 鶴岡 JC フィッシングクラブも今年11月11日の磯釣大会で、26回目を迎えます。これまで事故も無く、交流・親睦を深めつつ、会を存続出来た事は、会員だけでなく協賛戴きました皆様様の御尽力の賜物と、心より感謝申し上げます。

竹竿 発足当時は、竹竿にタモ、エビ箱、ソコマキ、シナ袋に撒餌のヨコトビを入れ、付エサは、小エビ～ゴエビを新聞紙で小分けにし、赤エビは挽クズに入れ、元気に跳ね回る生きたエサを使っていました。2間1尺～2間4尺位の竿でも、結構足元で、黒・黄鯛が釣れたのは、ヨコトビのお陰と思われる。オキアミ その後、竹竿は、ガラス竿からカーボンロッドに変わっただけでなく、オキアミの普及により、釣具も釣法も、大きな変貌を遂げました。

勝負 各種釣法にも、それぞれ面白さ、奥深さが有りますが、やはり中通し竿での黒鯛釣りが「魚と人との真剣勝負として別格」の思いがあります。前アタリから、合わせ、そしてタモ掛けまで、一瞬も気を抜く事のない緊張感、何物にも替え難いものです。何よりも左又は右の顎に、ガッチリと掛けたハリを見れば、満足々々、納得の1枚となります。

安全 ウキ釣等では、向こう合わせが多く、ハリを飲まれたり、上顎に掛ったりで、釣り上げたと言うよりは、魚が勝手に釣れて来たと思う事も有ります。しかし、大荒れの磯で安全に竿を出せる点では大いに助かります。

大物 昨年の25回大会で、新入会員の釣り上げた1尺7寸5分の黒鯛が、JCFの最大記録となりました。次に更新するのは誰でしょう?それはアナタかもしれません。可能性は充分あります。以前、庄内浜で漁獲された大物は2尺2寸5分で冷凍保存されています。

赤潮 温暖化の影響でしょうか、磯焼けだけでなく、岸から留棹庵の間を赤潮が流れているのを目撃しました。3日後の新聞が由良の釣堀全滅を報じたのは、今年の春です。

熱帯魚 海水温も上昇し、7年前に遊泳中、2寸5分位のカゴカキダイ(黄色と黒の縦縞が鮮やかな熱帯魚)を見かけ、ビックリしました。その頃から沖ではサワラが増え、磯ではアイゴが大量発生した年もあり、魚種の増加又は変化は確かの様です。

ブーム 手軽な娯楽として、釣人口も増えて庄内浜にも、県内外から大勢押し寄せ、賑わっています。それに伴いゴミが散乱し、釣り場が撒き餌で汚れているのは堪えられません。

ゴミ回収と釣り座を清めてから帰りましょう。

明日の為に これからも、会員同志、研鑽を重ね、「安全釣行と手本となるマナー」を堅持し、より楽しいJCFとして継続、発展します様、祈念して止みません。

筆 (社)鶴岡青年会議所OB JCF 会長 後藤忠夫

鶴岡の祭り・イベント

10月下旬～11月上旬

鶴ヶ岡城址菊花展 鶴岡公園荘内神社参道

11月4日(日) 21世紀かぶ祭り in 一霞 一霞地域内特設会場

11月上旬 大梵字新そば祭り 手打ち蕎麦処古の里 大梵字

11月11日(日) しゃりん感謝祭 道の駅あつみ「しゃりん」

11月11日(日) 庄内あさひ新そばまつり
すまいる(朝日山村開発センター)

11月23日(金) 春日神社新嘗祭(黒川能) 黒川・春日神社

11月23日(金) 山五十川歌舞伎 山五十川古典芸能伝承館

11月23日(金) 山戸能 山五十川古典芸能伝承館

12月1日～2月27日 鶴岡冬まつり 市内各所

12月1日～2月上旬

鶴岡冬まつりイルミネーションとライトアップ
鶴岡公園疎林広場

12月17日(月) だるま市(観音様のお年夜)
七日町観音堂(本町二丁目)

12月31日(月) 金峯山庭燎祭 金峰山中の宮(青龍寺)

12月31日(月)～元旦 松例祭 羽黒山山顶

(社)鶴岡青年会議所&JCG(ゴルフ同好会)



親睦ゴルフコンペ開催報告

JCG 会長 恩田 健次

去る10月22日(月)に朝日カントリークラブにて(社)鶴岡青年会議所 & JCG 親睦ゴルフコンペを開催いたしました。今年は4月に一度行い2回目の開催となりました。OB・現役メンバー合わせて23名の参加となり盛大に行われました。

さて、成績の方ですが優勝は、JCG 初代会長であります佐藤友和先輩。準優勝・ベストグロスとは2代会長であります五十嵐喜光先輩と歴代会長が見事ワンツーフイニッシュという結果でした。日頃の交流会とは違う楽しい雰囲気での懇親会や二次会も執り行うことができJCの活力や仕事の活力に繋がったのではないかと感じました。

今回JCGの単独主催ではなく(社)鶴岡青年会議所としてご協力いただきました。私が次年度理事長であることから大会発起人、そして実行委員長として努めていただきました菅原衛直前理事長、今間智寛交流委員長に感謝いたします。来年も2回開催出来るようメンバーもしっかり練習して企画したいと思います。ご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。



編集後記

秋も深まってきた今日この頃...JCでは今年度と次年度の両体制が混在し、盛んに会議が行われている時期でもあります。各会議が終われば夜の街へ(友情を確かめに?)消えて行くメンバー達。花は咲いていなくても、いつでも宴に興じる花見小僧であった。 執筆者 とも

発行：2007年度 社団法人鶴岡青年会議所
〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5
TEL 0235-24-0377 FAX 0235-22-5090
発行責任者：佐々木 一 広
制作責任者：広報委員会委員長 小池 信 治
発行日：平成19年11月12日
ホームページ <http://www.tsuruoka-jc.info>